研究課題名

「造影CT検査における早期相大動脈造影効果減弱に関連する影響因子の検討」

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（承認番号　H28中倫小第43号）

研究実施についてのお知らせ

放射線技術科では、「造影CT検査における早期相大動脈造影効果減弱に関連する影響因子の検討」に関する研究を実施しております。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成28年 10月 18日

【研究課題名】

造影CT検査における早期相大動脈造影効果減弱に関連する影響因子の検討

【研究期間】

2016年10月～2017年3月

【調査対象】

2015年1月1日～2015年12月31日の間に、造影剤注入方法は固定法で「胸部～腹部CTダイナミック撮影」を行った333例。

【研究目的・意義】

胸腹部ダイナミックCT撮影(固定法)における早期相：大動脈CT値との関連が示唆される10項目の因子がCT値上昇にどの程度影響を与えるか調査する。撮影前に影響の強い因子があるかどうかを把握することで最適な注入手技(固定法、ボーラストラッキング法、テストインジェクション法)の決定の一助となり、良好な早期相画像と取得に役立つのではないか。

【研究の方法】

　2015年1月1日～12月31日までの固定法にて胸腹部ダイナミックCTを行った患者で早期相画像：大動脈CT値300を超えなかった場合の因子10項目①体重・BMI②年齢③性別④心疾患⑤弁疾患⑥注入前の血圧・心拍数⑦EC・non-EC⑧撮影時の息止め(吸気・呼気)⑨注入部位(右上肢・左上肢)⑩造影剤注入指標フラクショナルドーズ(mgl/kg/sec)を調査。多変量ロジスティックモデルを用いてこれら因子が大動脈CT値にどの程度影響・関連するかを調べる。

【個人情報の取扱い】

データベースはUSBに保存し情報を暗号化。簡単に参照できないようにします。USBはパスワードでロックします。ID・氏名などはデータベースに入力しません。

【研究機関】

本研究は、琉球大学大学院医学研究科臨床薬理学講座助教　徳重明央　先生の指導のもと進めていきます。

【本研究に関する問い合わせ先】

沖縄県立中部病院放射線技術科、久場匡、〒904-2243　沖縄県うるま市宮里281、

098-973-4111(3111)